



高澤 議員

スカイパーク事業の指定管理者と、 能生体育館について

スカイパーク事業の指定管理者と、
能生体育館について

質問

スカイパーク事業（シャルマン火打スキー場等の運営事業）について、指定管理者制度にそぐわない形で運営され

ているように思うがどうか。スキー場開設の理念として地域活性化が挙げられていたが、市は、当事業の波及効果をどう捉えているか。

また、能生体育館新設計画では、地域住民の意見を考慮して進められているのか疑問に感じる面もある。何の事業

でも100%の満足を得ることは難しいと思うが、どのように進めているのか伺う。

市長答弁

シャルマン火打スキー場の指定管理については、基本協定、仕様書、リスク分担表及び年度協定により、行政と指定管理者の責任分担の明確化と適正化を図っていると考えるが、状況に応じて不都合な点は見直していきたいと考えている。

スカイパーク事業では、当スキー場のほか、ゴルフ場や日帰り温泉など、地域観光の中核

教育長答弁

教育基本法では、教育の目標の1つとして、「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと」が位置づけられており、同法及び学習指導要領に基づき、当市の平和都市宣言及び生命と人権を尊び豊かな心を育むための平和教育を、小中学校の教育課程の中で行っている。

的な施設を担っており、地域活性化や地域経済に与える効果は大きいものがあると捉えている。

能生体育館については、平成26年度に改築する計画で、昨年度、利用者及び体育団体等による検討委員会で施設の規模や機能、建設候補地等の協議を進め、今年3月、検討結果の報告をいただいた。また、能生地域審議会でも検討経過を報告し、ご意見をお聞きしたところである。なお、今年度は、建設場所の決定及び実施設計を行う予定としている。



倉又 議員

平和教育について

平和教育について

質問

地球上から戦争をなくすことは人類の悲願であり、そのための平和教育は不可欠であるが、平和への思いについて全ての人が一致しているとは

言い難い状況にある。平和を唱えてさえいればという観念的なものではなく、国や自治体がさまざまな現実的手段により平和教育に取り組む必要があると考えるが、当市の小中学校ではどのような取り組みが行われているか伺う。

平和都市宣言と 原水爆禁止運動

質問

当市は、平成19年6月に「糸魚川市平和都市宣言」を行ったが、その宣言の中に「核兵器の廃絶と戦争のない真の恒久平和を願う」とある。しかし、恒久平和が最終目標としても、日本が核保有国や核開発国に囲まれていることを認識しながら平和運動をしている人は多くないように思う。平和都市宣言を行ったこととその効果

や、原水爆禁止運動をどう認識しているかを伺う。

市長答弁

平和都市宣言は、全世界の真の恒久平和への願いを込めて行った。市民の平和意識高揚とともに、市内外の方々にもアピールする効果があると思っ

ている。
また、原水爆禁止運動については、核兵器廃絶と恒久平和を願う活動と認識している。



シャルマン火打スキー場